

科目名称：	介護福祉論 I	
担当者名：	磯貝 サエ子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
<p>「尊厳の保持」「自立支援」という新しい介護の考え方を理解するとともに「介護を必要とする人」を、生活の観点から捉えるための学習でもあります。また、介護に安全やチームケアなどについて理解し、さらに介護の概念や対象及びその理念等についても理解を深めます。介護過程における介護技法や介護予防の基本的考え方、終末期ケアのあり方等について学習します。介護における相談援助活動において必要となる介護保険制度や高齢者の福祉・介護に関連する他の法制度の理解を深めます。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>1. 介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義について理解できる。 2. 介護における介護福祉士の役割と支援の視点が理解できる。 3. 利用者本位のサービスを提供するため他職種協働によるチームアプローチの必要性を理解できる。 4. 自立に向け高齢者の介護が理解できる。 5. あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術を理解する。 6. 人権擁護の視点、職業倫理を身につける。</p>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP (2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP (3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP (4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP (1)					0
ビジネスDP (2)					0
ビジネスDP (3)	80		10	10	100
ビジネスDP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容 1》 介護福祉士	《経験年数 1》 9年
	《内容 2》	《経験年数 2》
	《内容 3》	《経験年数 3》
	《内容 4》	《経験年数 4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
介護を必要とする人に対して	潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義、サービスを提供するためのチームアプローチ、について他者に説明できる。	潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義、サービスを提供するためのチームアプローチ、について理解している。	潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義、サービスを提供するためのチームアプローチ、についてなんとなく理解している。	潜在能力を引き出し、活用・発揮させることの意義、サービスを提供するためのチームアプローチ、について理解していない。
介護福祉士の役割・支援	介護福祉士の役割と支援の視点を他者に詳しく説明できる。	介護福祉士の役割と支援の視点が理解できる。	介護福祉士の役割と支援の視点がなんとなく理解できる。	介護福祉士の役割と支援の視点が理解できない。
介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術	あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術について他者に説明できる。	あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術について理解できる。	あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術についてなんとなく理解している。	あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術がわからない。
人権擁護・職業倫理	人権擁護の視点、職業倫理が身についている。	人権擁護の視点、職業倫理を理解している。	人権擁護の視点、職業倫理がなんとなくわかっている。	人権擁護の視点、職業倫理についてわかっていない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 介護福祉士を取り巻く状況：介護の歴史、介護問題の背景	介護の概念や対象について下調べをする	60分
第2回 介護福祉士の役割と機能を支える仕組み①：介護需要、社会福祉士・介護福祉士法	社会福祉士および介護福祉士法について下調べをする	60分
第3回 介護福祉士の役割と機能を支える仕組み②：介護保険法、その他の法制度	介護保険法について下調べをする	60分
第4回 介護福祉士の役割と機能を支える仕組み③：専門職能団体の役割と活動、専門職能団体の日本介護福祉士会	専門職能団体について下調べをする	60分
第5回 介護従事者への倫理：職業倫理、利用者の人権と介護、プライバシーの保護①	介護福祉士の専門性について下調べをする	60分
第6回 介護従事者への倫理：職業倫理、利用者の人権と介護、プライバシーの保護②	介護従事者の目指すべき姿勢についてまとめる	60分
第7回 介護を必要とする人の理解①：人間の多様性・複雑性の理解	自身の生活活動についてまとめる	60分
第8回 介護を必要とする人の理解②：人間の生活の場、高齢者の生活と暮らし	日本の暮らしの歴史について調べてくる	60分
第9回 介護を必要とする人の理解③：障害のある人の暮らし、介護を必要とする人の生活環境の理解	障がいのある方の暮らしにおける介護の必要性についてまとめる	60分
第10回 自立に向けた介護①：自立の考え方、自立支援の理解	自立と自律の違いについて下調べをする	30分
第11回 自立に向けた介護②：個別ケア、ICFと自立支援	前回の授業をもとに自立と自律についてまとめる	60分
第12回 自立に向けた介護③：リハビリテーション	リハビリテーションの意味について下調べをする	30分
第13回 尊厳を支える介護①：人の尊厳とは、QOLの考え方	尊厳について下調べをする	30分
第14回 尊厳を支える介護②：ノーマライゼーションの実現、利用者主体の介護	前臥位の授業をもとに尊厳に関して自身の考えをレポートにまとめる	60分
第15回 まとめ（ディスカッションを含む）	介護サービスのあり方について自身の考えをレポートにまとめる	60分
事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。 履修に必要な予備知識や技能として、福祉施設見学・ボランティアを体験すること		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、80%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。 レポート10% 授業への参加度 10%		
課題に対するフィードバック		
必要時コメント記入し、口頭説明を加え返却します。		
教科書・参考書		
教科書：最新・介護福祉士養成講座「3 介護の基本Ⅰ」中央法規出版、教科書の該当ページを開きながら解説する。 参考書：授業時に適宜紹介する		